臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

[illegible]

陸鷲マラワサを強襲

敵機六を屠る　テンビも亦炎上す

【南太平洋〇〇基地十三日發同盟】ニューギニヤ方面我陸軍航空部隊は地上部隊と協力、連日猛攻を續けてゐるが、十二日朝八時三十分戰爆連合の編隊をもつてマラワサ飛行場を攻撃、わが戰闘機隊は邀撃し來つたP40四乃至五機と空中戰を演じ、その二機（不確實一機）を撃墜、爆撃機隊は在地十數機を爆彈をもつて猛爆、内四機を炎上せしめた後、二箇所に大火災を起さしめた、この戰闘においてわが方は自爆一機の尊い犠牲を出した、他の一隊は又同日午前三時頃テンビ飛行場を爆撃、二箇所を炎上せしめ、一箇所より黒煙を吐かしめた

海鷲敵陣二箇所を襲ふ

【南太平洋〇〇基地十四日發同盟】我が海鷲は十三日夜ニューギニヤ東端のガワドイナフ島トロブリアンド島を急襲飛行場及び軍事施設を爆撃しガワドイナフ島では二ケ所トロブリアンド島では五ケ所を炎上せしめ天に冲する火焔を尻目に我が方全機無事歸還した

ミレ島で五機撃墜

【南東太平洋〇〇基地十四日發同盟】去る十日敵大型機コンソリデーテッドB24二十數機がマーシャル諸島ミレ島に來襲、我が戰闘機隊はこれと交戰その五機を撃墜した、我方戰闘機一機が被彈した

北部緬印の敵に鐵槌

包圍鐵環、戰闘續行中

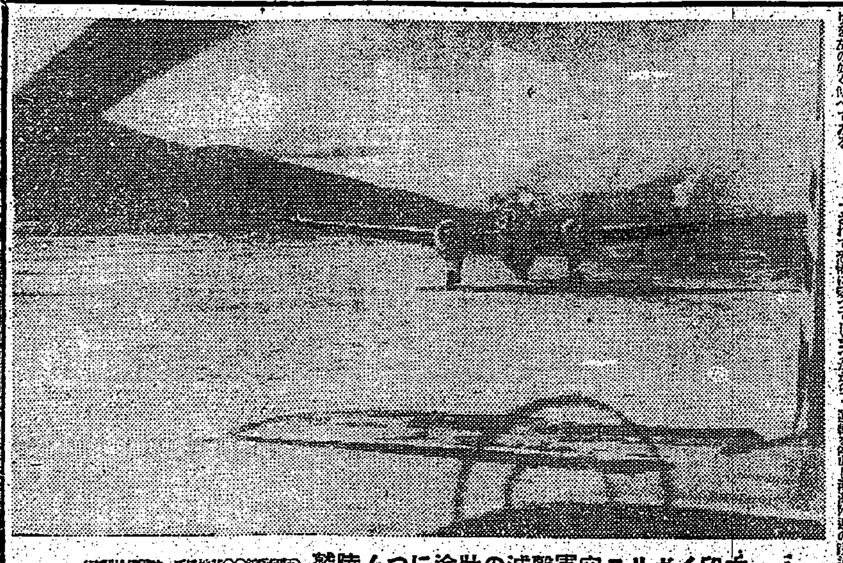
【ビルマ前線〇〇基地にて鈴木報道班員十三日發同盟】今次雲南作戰において怒江西岸地區一帶を我が制壓下に委かし何等なす所なかつた在印重慶軍はその後に至つて漸く出撃の氣配を示し多大兵力を北部緬印國境に移動し北ビルマ地方に無謀の反攻を企圖するに至つたので、同地方の我部隊は十一月末より一齊に反撃の火蓋を切り敵の包圍殲滅戰を展開今なほ[illegible]中である

カルカッタ大被害

過般の空襲敵に大打撃

【ラングーン十三日發同盟】去る五日陸海連合の大編隊を以つて空襲敢行されたわが[illegible]に依るカルカッタ[illegible]に多大の損害を與へた[illegible]

[illegible]



在印イギリス空軍撃滅の壯途につく陸鷲（南方前線〇〇基地にて…陸軍報道班員撮影）

壯絶世紀の一大決戰

第二、三次ギ島沖航空戰記

【南太平洋〇〇基地にて松林海軍報道班員發】人間の生命が必勝の信念によつてこれ程永く持ち出來るものだらうか、去る十一月二十一日朝敵が大部隊で上陸を開始してから十日以上全く眠りもせず乏しい食糧と飲水の中で基地の將兵は文字通り勇戰奮闘を續けてゐる、昨冬北方戰線に從軍してアッツを知りその勇戰振りを見た記者ではあるが、南海の灼熱の日を浴びて珊瑚礁上に血みどろの攻防戰を展開する世紀の決戰を前につくづく感に堪へない、それは必勝の信念の外に己を無にして悔ひない絶對信念の必然にあるからだ、第一次ギルバート沖航空戰以來[illegible]の一機までもと引續き連日連夜これを救援[illegible]海鷲の勇士達すべては絶對信念によつて必勝の確信が燃え盛つてゐる人達だ、以下は基地で聞く第二次、第三次ギルバート諸島沖航空戰記である

敵空母二隻轟沈

基地に輝く満月が訪れた二十五日、作戰開始後する五日間もかかつた[illegible]

[illegible]

無言

[illegible]

又も敵艦大量悶絶

[illegible]

眞上

[illegible]

攻撃

[illegible]

誘導

[illegible]

轟沈

[illegible]

戰爭三年決勝の年

翼政會幹部招待會東條首相決意闡明

【東京電話】十四日首相官邸で開かれた翼政會幹部招待會にて東條首相は左の如く挨拶し政府の此の戰爭第三年を決勝の年たらしめるため國民の陣頭に起つて敢然と戰ひ拔かんとの牢固たる決意を闡明した

首相挨拶

[illegible]

運通省提出の法律案内容

【東京電話】運輸通信省提出法律案内容は左の通り

△郵便法中改正法律案[illegible]

[illegible]

ハノイに又も敵機來襲

【ハノイ十四日發同盟】[illegible]

定例閣議

【東京電話】十四日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開會、東條首相以下全閣僚出席、先づ[illegible]第八十四回議會に提出すべき七法律案の要綱を説明[illegible]

行政事務飛躍簡素化

整備强化の細目發表

閣議決定

【東京電話】政府の[illegible]

[illegible]

情報局發表（十二月十四日）

[illegible]

共同の戰爭を繼續

伊共和國政府宣言す

【東京電話】十四日外務省筋の公表に依つて左の如く共和政府は十一日外務省公表に依つて三國同盟の共同戰爭遂行に關する[illegible]

[illegible]

一審制度を實施

朝鮮の裁判手續き簡素化

【東京電話】朝鮮における戰時[illegible]

[illegible]

伊海外新聞部長任命

【ローマ十三日發同盟】[illegible]

米、西、葡首腦ら會談

【ストックホルム十三日發同盟】[illegible]

熊谷陸軍飛行學校長

平田少將を補職

[illegible]

七法律案要綱を決定

[illegible]

兩法案要綱は三箇年間延長

[illegible]

三勅令及び省令の一部停止又は改正

[illegible]

伊南部戰況

【リスボン十三日發同盟】[illegible]

ボース氏昭南に歸還

[illegible]

内務辭令

[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

戰ひ拔かん大東亞戰
實費の保險
相互組織
千代田生命

—興亞奉公日—
貯蓄の尖兵
[illegible]
山一證券臺北支店

社說

企業整備課の活躍に期待す

現下國内に於て最も愚かなる存在の一つは、商業界が既に根本的に變化しつつあるにも拘らず、之を戰時經濟による一時的現象に過ぎずとし、戰後はまた再び自由經濟が復活すべきを夢見つつ、殆ど空しく手を束ねて現狀を眺めて居る商人であり、又最も時局に不忠實なるものの一つは、戰力增强のための努力の不足が[illegible]、時代の流れに[illegible]自由經濟に[illegible]、無益にその日その日を送る商人である。

然に、斯くの如き愚かなるものに警醒を促し、併せて時局に不忠實なるものを忠實ならしめ、以て戰力增强に邁進せしめると共に、次の時代に處して誤り無からしめんとすることは、目下の急務であらねばならぬ。[illegible]

◇

企業整備の使命は二つあり、一は[illegible]の戰力增强、一は[illegible]

卸賣業整備を協議
臺灣中小商工業再編成協力會　常議委員・部長會
十八日

[illegible]

鹹水養殖南方へも
生產條件は最上
技術改善で飛躍增產

本島の鹹水養殖は永年の歷史を有し今日の如き發達を見て居るが、この技術を南方各地に進出せしめてはどうであらうか、南方では比島及びジャワに於いてもサバヒー養殖が行はれて居るが、その單位生產額は本島の四分の一乃至五分の一に過ぎない、然るに生產條件は年中成長期間にあり、飼料も豐富な上に[illegible]があり、魚苗の採取も本島より遙に[illegible]

大東[illegible]

一環[illegible]

知事を陣頭に督勵班
水利施設强化と堆肥增產

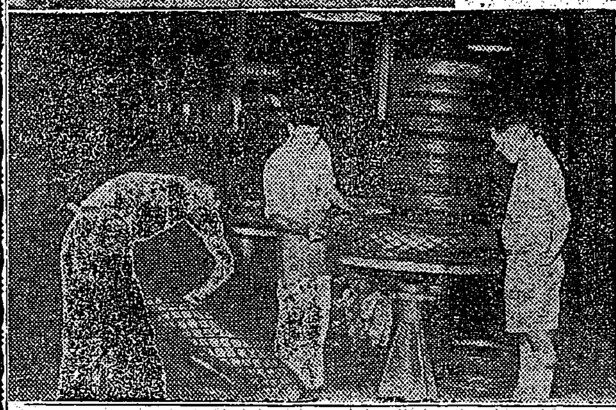
[illegible]

鈴木工業課長
中南部の各工場を視察

[illegible]

ゴムタイヤ增產
ジャワ

[illegible]



增產の徹底期す
全島農事試驗場長會議

[illegible]

南庄對抗婦女子牛耕競技會

[illegible]

緊褌一番結束せよ
敵反攻も必死、戰局重大

ニミッツ攻勢　[illegible]

マッカーサー攻勢　[illegible]

マウンドバッテン攻勢　[illegible]

決戰
馬耕競技會に寄せて

[illegible]

增炭隘路打開の道【上】
移動防止を眞先に
勞務者の生活に立入れ

戰力增强の一部門を負擔する本島石炭の增產途上には幾多の難關が横たはつてゐる、しかも增出の要請は日に日に强化する、今にして增產隘路打開方策を樹立しなければ本島炭礦の前途は[illegible]目に見える、本社はこの意味に於て[illegible]氏を招いて隘路打開の方策についてきいた

本社　石炭增產隘路の打開について色々問題はありませうがその中でも勞力の問題を中心にしてお話を伺ひたいと思ひます

三井氏　地下資源の增產特に戰力增强の上に一番重要な石炭の增產と云ふことは國家が要請して居る重要な問題ですが[illegible]

一月から石炭增產確保期間が來年の三月まで五箇月間設定されて色々增產に拍車をかける樣な方策が講ぜられてゐるが、私達もともと生產隘路について勞務管理の立場から考へて行くことに大いに關心を持つて居る譯です、生產隘路と云ふものについて先づ移動防止をすることが一つの大きな隘路の打開策ではないか、之は同感であります、移動防止について先づわれわれの方で支部事務所から現在までの經過を述べて見ると非常に

面白　い數字が出て來て居ります、[illegible]

出席者

臺灣炭礦 技術 取締役

同 三井勞務課長

同 [illegible]

同 小原勞務課主任

本社 [illegible] 岩田第一部長 [illegible]

先程　[illegible]

近藤氏　[illegible]

三井氏　[illegible]

本社　[illegible]

國安產業本島に進出ジルコン等採取

[illegible]

統制會社令近く運用

[illegible]

南方への工業
重要性を說く高原知事中談

[illegible]

臺灣精機工業總會

[illegible]

規格絹織物の販賣價格指定

[illegible]

割增金附定期預金
特等一萬圓外けふ抽籤

[illegible]

誰も知る有名な日本文學代表作
永遠に輝く文豪傑作選集
蘆花傑作集
漱石傑作集
獨步傑作集
[illegible]
東京・神田 [illegible]

下痢に
郎效を誇るワカ末は胃腸ときつてもきれない仲となりました
强力殺菌整腸劑
ワカ末

榮養障碍に
エビオス
消化不良
常習便秘
脚氣・倦怠
▼本劑の投與が効果的。食慾を旺盛にし、消化を助け、食物―特に含水炭素質（米飯）を完全に榮養化するに必要なB複合體を豐富に補給する

はたらく姿より美しいものはありません。
お肌の爲に パピリオクレーム

濕布に
簡便・爽快
長時間有効
粉末エキホス
特長
一、使用法簡便にして
一、非常に爽快なる事
一、皮膚炎を起す等の副作用なし
今般エキホス姉妹品として發賣したる本劑は專らその藥効に持續時間の永續に留意して製造せるものにして用法も至極簡便安全なる粉末濕布藥なり
主治効能
感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎、扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス、神經痛、打撲痛、捻挫等
約四・五時間の交換が適當です
A-PE33.12T

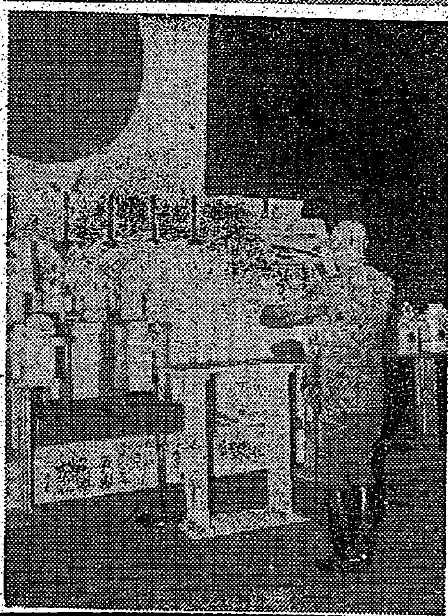
決戰場へ陸鷲四機

臨時臺北市會開く

決戰場へ陸鷲四機

臺北實業・專賣號晴れて命名

[illegible]



史蹟、名勝等二十八件

文部省本年第二回の指定

[illegible]

史蹟

[illegible]

名勝

[illegible]

天然紀念物

[illegible]

解除されたものは

[illegible]

特別幹部

候補生制度新設

一年六月で陸軍現役下士官

中等學校在學者に特典

【東京電】陸軍では戰局の要請に基き特別幹部候補生制度を新設し、十五日陸軍省令を以て勅令、省令及び昭和十九年度に於ける召募告示を公布即日施行した、今回實施される運びとなつた特別幹部候補生制度は決戰下に於ける中等學校少年の熱烈な愛國殉國の念に應へ且つ短期間に國軍の幹部を養成する事を主眼としたもので同制度の要綱は次の通り

一、採用する兵種は飛行兵、船舶兵、通信兵、兵技兵、航技兵等であるが、今回は差當り飛行兵と船舶兵の二兵とせられた、但し飛行兵の中には操縦、整備、通信、特種の分科があり、船舶兵の中にも船舶工兵、整備、通信、特殊船舶要員の分科がある、志願者は兵種の希望分科を提示すれば良いが、採用人員、適性等の關係上志願以外の分科に採用せらるる事もある

一、銓衡のための檢査には身體檢査、口頭試問及び學科試驗が行はれるが、中等學校に於て特に推薦する者については學科試驗を省略し得る

[illegible]

出陣學徒に續け

次の戰果は中等學生の勲

文部當局談

[illegible]

乃木精神普及講演

[illegible]

兩勇士散華

前原田上等兵、藤原上等兵

[illegible]

瞳に光る負けじ魂

島都志願兵身體檢査始る

[illegible]

陣頭に起つ篤農家の敢闘譜

土と苦闘の三十年

桃園に李氏一家を訪ふ（二）

第参年勝抜道

[illegible]

桃園墾

[illegible]

燦然と

[illegible]

その日

[illegible]

夢の襟

[illegible]

じみな

[illegible]

豚舍へ

[illegible]

不屈の

[illegible]

試驗濟

[illegible]

答へて

[illegible]

臨時臺北市會開く

牽引自動車製作經費等可決

[illegible]

島都市民の足緩和

本年度親子バス七臺を製作

[illegible]

農會臺北支會で深耕競技會

[illegible]

上級兒童は防空要員

先づ先生が訓練手習ひ

[illegible]

南署保正會議終る

[illegible]

故小松群長の遺德は香ばし

[illegible]

皇軍將兵慰問金（三八）

[illegible]

小計金二千百四十一圓五十三錢

累計金三十七萬百十二圓五十五錢

ヤマト管柱名會社

遠心力應用　高壓コンクリート　上下水道　暗渠用

ヤマトポール

ヤマトのパイプ　75粍〜1500粍

腦の病（てんかん）症状◎中風　再發防止法

臺日案内

古着利用羽毛フトン製作展示會開催

株券交付公告

臺灣纖維製品配給統制株式會社

辯護士　小山內績　電話八七四一番

洋裁ト技藝生徒急募

齒科　青木醫院　電話六七九五番

會葬御禮　福田清吉

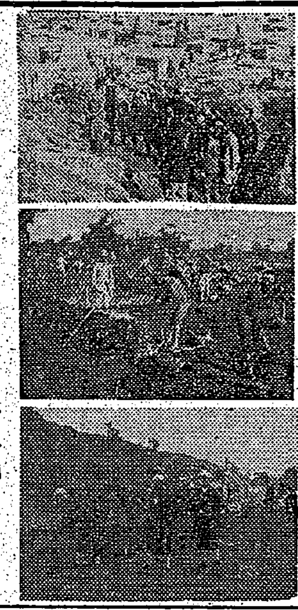
會葬御禮　小林日出夫

會葬御禮　安田千年　井上信司

第拾六回營業報告　臺灣纖維工業株式會社

第拾回決算公告　臺灣精機工業株式會社

戰場思へば何かあらん
大排水溝の奉仕開鑿
郡守と生産増强實踐隊の意氣



【員林】臺中州下八堡圳水利組合では員林、彰化兩郡下に於ける美田の中九千餘甲が毎年浸水される豪水、亘害等の被害を年々九十萬圓を喰ひ止めて食糧增産に寄與すべく總工費四百五十二萬圓（この中國庫補助百九十六萬圓）五箇年繼續事業にて員林大排水溝を開鑿することとなり、昭和十六年始め起工、已に第一區工事、第二區工事を終へ本年は第三區工事（工事費四十萬六千圓、延長五粁二五）に入つたが戰局に伴つての入札も應札者がなく該工事は遂に立往生となるに至つた、これを耳にした [illegible] 員林郡守村田安治郎氏は「國家非常の時折、これでよいか？」と [illegible] し、苦心しつつ郡下各街庄へ行脚して有志者らと懇談したが有力者側は異口同音に この工事は實に大きい、且つまたむつかしいから當に定つてゐる しかし國家のためならば何んの犠牲が惜からう、宜しく打算的觀念を一擲して滅私奉公でやり抜かう と衆議一決したのでたうとうこの難工事を引受けることとなり、去る十二月一日から郡下各街庄生産 [illegible] 日早朝より作業場で甲斐々々しく働いてゐる [illegible] 遲くとも十二月末頃までには完成したいと六七千名の隊員たちは附近の集會所、公家、倉庫、小屋等百餘の臨時皇民錬成道場に分合宿し一齊に作業に [illegible] あらゆる困苦缺乏に堪へ忍んで打振ふ一鍬一鍬の音は冬空に高く [illegible] 渡り、 [illegible] りを示してゐることは本島に曾つて見ない一大敢鬪精神を展開してゐる（寫眞は作業開始式の國民行事）

徴兵趣旨徹底
彰化皇奉で講演會

【彰化】皇奉彰化市支會では一般市民に對し兵役の義務と其の榮譽を認識せしめ一般同仁の聖旨に [illegible]

新營防犯週間
警察課長ら講演

[illegible]

成果を擧げ嘉義
防犯週間終る

[illegible]

豐原郡下一萬餘名
志願熱いまが最高潮か

[illegible]

法衣を脱いで參加
住職も門弟と共に奉仕

【員林】國民運動の一大試錬として員林郡生産增强實踐隊が目下盛んに、縣中の員林大排水工事は既に [illegible] 上の困難を突破して逞しく敢鬪してゐるので郡の勇士の努苦を慰さめ [illegible] 心から物資特配があり、また各方面からも慰問者の後を絶たぬ狀況なので隊員らは大いに感激してゐるが、員林寺住職岡部快道氏はこの程弟子二名を引率して作業現場へ獻身をなした上三十五年振りに鍬を振つて隊員と共に勤勞奉仕を行ひ、一同に深い感銘を與へた岡部氏は隊員の一員に參加させて頂きました感激に唯大な恒久的な大事業に恰も萬里の長城を築くが如く一本莊嚴に接して吃驚しました、一日七、八千名が命令一下黙々と、然かも嬉々と鐵々として秩序整然に行動する員林郡生産增强實踐隊の涙ぐましい活動振りは誠心の外なく、頭が下るばかりである【寫眞は上から1作業前の國民行事2挺身部隊

大御心に應へ奉る道
新竹皇奉で刷り物配布

【新竹】皇民奉公會新竹州支部では來る二十年に實施を見る徴兵制度の趣旨徹底を期する爲めかねて同支部で制定した徴兵制度趣旨徹底方策を中心に州民の指導に萬全を期しつつあるが今度更に指導者 [illegible] などの徴兵制度說明、また [illegible] として（一）徴兵制度の實施せられるに至つた所以（二）本制度實施の有難さ（三）この有難き大御心に應へ奉る道（四）戒心を要すべき點（五）結語の五項目に亙り平易明詳に記したパンフレットを三千餘部印刷近く州下の指導者に配布することとなつたが非常に期待されてゐる

滅私奉公の花
青年團員責任に散る
見よ皇民道實踐の徹底

【屏東】青年團員使命達成の熱意として盡きることなく永久に讃へよ、この [illegible] 病の惡化するのを [illegible] 一意專心滅私奉仕作業に敢闘しその殉職、遂に滅私奉仕の犠牲と散つた滅私奉公の美談である。それは屏東市 [illegible]（市內本町二ノ九番地）生 [illegible]（一九歳）は二三日來の風邪で頭重く氣分すぐれぬまま十日早朝よりの水流地方產業化奉仕作業に押して參加午後五時の所定の作業を終了するまで頑張り抜け [illegible] ひしぼつて頑張り [illegible] 小舟で屏東 [illegible] 院長 [illegible] 氏に見舞はれながら「明日、明後日の作業終了するまでは生き抜きたい」と叫びつつ遂に息を引き取つたのであつた、この敬 [illegible] なる責任行爲は本島青年團員の皇民化の徹底せるものとして讃へらるべきものであらう

臺南の軍援表
彰狀傳達

【臺南電話】日本發達の一致に銃後を護り飛ぶ日本婦人の譽も高く軍事援護の華として軍援本部より表彰された臺南市日金町五ノ八〇 [illegible]

旗山六龜 間道隧道完成す
荖濃溪の水魔一掃さる

【旗山】六龜から山奥、旗山郡下の山地に點在する [illegible] 水流、扭抄線 [illegible] [illegible]

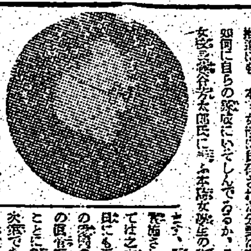
あの日の
逞しい復舊精神で敢闘
嘉義大震災二周年間近し

[illegible]

新營臨時保甲會議
で申合せ獻金

[illegible]

學園も決戰場に續く【上】
因襲を破つて起つ本島女性



〝男の方はみんな第一線に行かれても銃後は私共で護ります〟と總べ日本の女性の意氣は今いやが上にも昂まる、私達がしつかりしなければ駄目、女性も戰力增强へまつしぐらだ、増產に勤勞に、生活の決戰化に女性の任務も又重い、昭和二十年から愈々本島にも實施される徴兵制の成果にも、皇民家庭の推進にも、本島女性に負荷された分野は廣くして深い、この女性決戰の秋に際つて本島の女學生達は如何に自らの殼を脱いで [illegible] ゐるか、又學校當局は如何に女子青年を導いてゐるのか、臺北第三高女校長谷先太郎氏に訊ぬ本島女學生の姿と進むべき道

學徒に對する戰時非常措置が施せられまして、 [illegible] は今に勇躍出陣せられ吾々は感激を以てその行を壯にしたのであります、更に本島在籍の學徒に對し實施された特別志願の制度に際しては之亦內地、本島在籍の學徒にも近い將年學徒が出願しそこの學窓の [illegible] 擲ち [illegible] の國旗を迎例なく [illegible] ことに際しては深き感激を覺えるものであります、そこで

殘る學徒は新に殉國の心構へを以てこれからは愈々必勝の途への敢究を開始することになりました、ぶてその殘る學徒ですが、それは單に所謂理工科系の大學、高專の學徒のみと限るべきではないと思ひます、それには男子の中等學校生徒もその中に含まるべきです、殊に米英では既に十八歳以上の男子は之を徴集してゐると聞きますとき、當然我も之に對抗してゐなければならない、では男子のみか、否、米英は女子青年までも戰から貴み動員されてゐるといふから我が國

女子青年も男學徒に對抗せねばなりません、されば男といはず女といはず、學年學徒たるもの凡て今はその學業も修練も只管戰勝、必勝の途への邁進でなければなりません、それでなくても [illegible] に一億總戰闘配置に付けとの號令の下つてゐるこの際、青年學徒こそはその一億の中でも最も士氣旺盛なる [illegible] でなければならないのであります、されば [illegible] 女子青年學徒は [illegible] [illegible]

海ゆかば水漬く屍
臨終に誦む盡忠の一念

[illegible]

赤誠の獻金品

軍司令部(十五日受)
國防獻金

[illegible]

恤兵金

[illegible]

獻品

[illegible]

ラヂオ

第一放送

[illegible]

第二放送

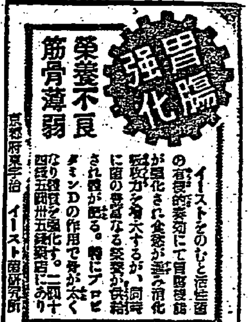
[illegible]

椰子 (120)

海野十三作　村上松次郎繪

南洋にて(一)

[illegible]



新鮮 イースト錠

胃腸强化 榮養不良 筋骨薄弱

[illegible]

京都市東洞院 イースト研究所

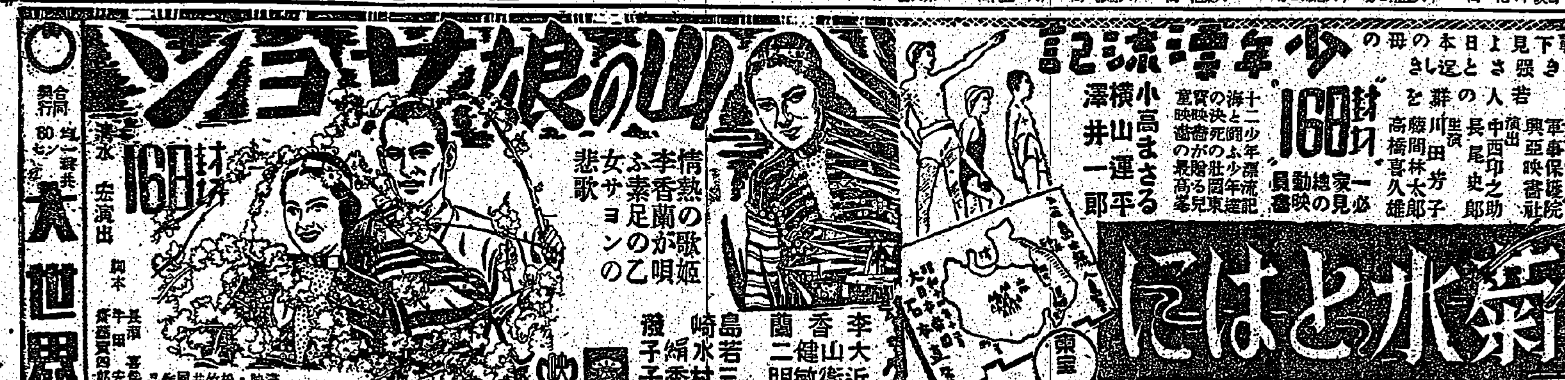
ニキビ・ソバカスの専門藥
「ハクリ」

[illegible]

今日の映畫

大世界　台灣　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　大平館　第三世界　中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座　臺中州合同興行會社　國際館　基隆劇場　新竹の映画　新竹劇場　有樂館

[illegible]



情熱の歌姫 李香蘭が唄ふ素足の乙女サヨンの悲歌

李香蘭　近衛敏明　大山健二　若水絹子　島崎撥子

清水宏演出　長瀬喜伴 牛田宏 齋藤寅四郎 脚本

松竹・滿映 共同作品

16日封切　合同興行 60セン 均一稅共　大世界

決戰下見よ日本の母の美しき逞しさ

若人の群を

十二少年の決死の海の漂流に寶の映画

168日封切　一家總動員の映画必見

後援 海軍保護院 興亞映畫社

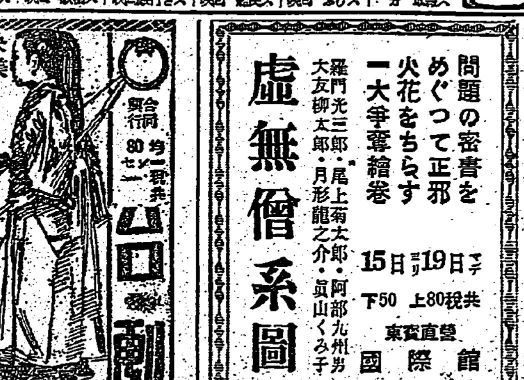
演出 中西昌之助　長尾史郎

主演 川田芳子 藤間林太郎 高橋喜久雄

小高まさる　横山運平　澤井一郎

東寶

合同興行 80セン 均一稅共　山口劇



問題の密書をめぐつて正邪火花をちらす一大爭奪繪巻

虚無僧系圖

羅門光三郎・尾上菊太郎・阿部九州男
大友柳太郎・月形龍之介・眞山くみ子

15日より19日まで

上80 下50 稅共

東寶直營 國際館

夕刊
臺灣日日新報
十二月十五日

眞に消耗戰、補給戰
航空機撃滅戰の實相

【東京電話】十月二十七日のモノ島上陸を皮切に、敵の南東方面反攻は[illegible]以來曾て見ないほどの規模と強烈な物量と兵力をもつて進展し、戰局はソロモン諸島よりさらに中部太平洋方面にまで擴大されるに至つた。ソロモン方面においては七日のモノ島附近航空戰を皮切りに、十一月十七日までの間に五次にわたる航空戰と四回の海戰を戰ひ、次いで二日後の十九日からはギルバート諸島方面で二十九日までの十一日間に四つの航空戰と二つの海戰が矢繼早に展開されたのである。しかもこの間僅三十四日、わが海軍ならびに陸軍航空部隊は[illegible]大本營發表の如く敵空母十九隻以下艦艇百七隻撃沈乃至三百八隻撃破、敵機六百八十九機撃墜といふ世紀の大戰果を打ち建てた。にもかかはらず、かかる巨大な損害を喫したにもかかはらず、敵の[illegible]執拗な反攻はいまなほ繼續されてゐる事實をみるとき、われわれは敵の並々ならぬ戰意と不屈な野望とを看取し、同時に

戰局 の容易ならざるを痛感する。しかしてこれら一聯の戰況を通してまづ第一に感ずることは、戰爭が本格的近代戰の様相を濃化するにしたがつて、航空兵器の占める地位が益々重加し、他の兵器に比し絶對的な割合を持つに至つたといふ事である。特にこのことは航空機と艦艇との比率についてもいひ得る。ブーゲンビル島沖海戰ならびにギルバート諸島方面における十五回の海空戰中一日夜のブーゲンビル島沖夜戰と二十五日のマキン西方海戰を除いて他の十三回の海空戰は悉くわが航空部隊によつて戰はれたもので、その[illegible]は[illegible]を擧げ[illegible]では、[illegible]いことを明かに證明してゐる。ソロモン方面においては米西南太平洋艦隊司令官ハルゼーが十數隻に及ぶ空母を出動せしめたこと、ギルバート諸島方面においては太平洋艦隊司令官ニミッツが十數隻に及ぶ空母を出動せしめたこと、あるひはこれら母艦群に併行して有力な基地航空部隊を活潑に使用したこと等いづれも敵が航空兵器に重點を集中した證左であるが、共にわが方に「優に匹敵し得る」航空勢力の

保有 を前提としてなされたものであつた。敵の戰法についてみても、航空機の活用を著しく強化するに至つたことが目立つ。すなはちモノ島上陸に至るまでの一ヶ月餘は一日も缺かさず、モノ島上陸に至るまで來襲は[illegible]であつた、モノ島およびブーゲンビル島上陸作戰に際しては、右の他かわがラバウルの基地に對しても猛烈な空襲を反復し、又ブカ島をも攻撃してゐる、ラバウルのごときは十月十二日約二百機、十八日約二百機、二十五日約二十四機の計約二百機、二十九日九十機、十一月二日二百機と七日間に九百數十機が來襲した、わが海軍ならびに陸軍部隊が爽快的なる三段の[illegible]上、地上各部隊が實戰的な二十數機の邀撃戰を展開し、來襲敵機一二百數十機中その約九割の二百一機を撃墜し、世界航空戰史に不滅の記錄を打ち立てたあの歴史的大戰果はこの日の

戰闘 においてであつた、同日[illegible]ブカ島に[illegible]の爲によつて米部隊は第三十五機中三割九分の三十九機を撃墜してゐる。ギルバート諸島上陸作戰にも敵は同様の戰法を用ひたのであつて、かやうに連續的反復攻撃により之をわが航空勢力の減殺を計つてのち上陸作戰を行はんとしたところに敵の戰法の特徴があり、戰局が本格的近代戰の相貌を強化しての敵の戰術である。戰局の[illegible]米之前以でもある。敵の[illegible]一大消耗戰であり、補給戰であることは論を俟たないが、その根本をなすものはあくまで航空戰であり、この航空兵力の量化がモノ島上陸を契機とする新段階の[illegible]の特相である。この間わが[illegible]空部隊がいかに活躍したかは

發表 されたあの輝かしい戰果の[illegible]勝利の記錄が如實にこれを物語つてゐる。次にソロモン方面戰における從來の戰局と現段階のそれを比較してみると、本年一月わが軍がガダルカナル島より轉進して以來六月三十日敵がレンドバ島に上陸するまでの期間においては、敵はガダルカナル島をはじめ後方

[illegible]の基地強化と航空兵力、艦艇、兵站基地の整備、強化と兵力資材の輸送に努め、專ら次期作戰の準備工作に費して來た。したがつてこの期間における航空戰は局地的な[illegible]わが方による航空撃滅作戰が中心となり、敵の來襲は時々に行はれたに過ぎなかつた。このことは戰果にみる敵の大損害の數にも表はれてゐる。四月一日のフロリダ島沖航空戰以外には殆ど無かつたと言つてよく、四月二十五日のショートランド航空戰および六月五日の[illegible]による航空戰は[illegible]なものしかなかつた、のみでも

一、エスピリッサント島急襲（二月二十一日）
二、ルッセル島空襲（四月一日）
三、フロリダ島沖海戰（四月七日）
四、ルッセル島空襲（五月十三日）
五、ルッセル島空襲（六月十二日）
六、ルッセル島邀撃（六月十二日）
七、ルンガ沖航空戰（六月十六日）

の八つを擧げ得るに過ぎない。しかもこれらの航空戰が明かに證明してゐる、しかもこれらの航空戰は今次ブーゲンビル島沖航空戰などとは異り

出撃 に勢ふるわが海、陸の航空戰ではなく、次期作戰準備のための[illegible]の邀撃戰に類するわが方の攻撃であり、六月三十日のレンドバ島上陸を皮切りに、十月二十七日のモノ島上陸に至るまで敵の作戰は[illegible]に對し、敵の出撃は昨年以來のことである。しかして昨年は敵基地航空部隊の活用は殆んど見るべきものがなく、航空母艦中心主義といつても今次の[illegible]とは本質的な差異があり、かやうに新しい戰闘段階に入つてからは、航空兵力が[illegible]航空主義に強化されたのである。以下六月三十日以降のソロモン方面戰における大本營發表および本社第一線基地特派員の報による[illegible]航空戰の戰況を見よう（陸軍航空部隊は地上部隊によるもの、地上部隊によるものを除く）

△七月（六月卅日を含む）

交戰前機數　一六一二機
撃墜數　三六〇機
撃墜率　一割二分三厘弱
内　譯
(イ)ブーゲンビル島周邊
交戰前機數　四二二機
撃墜數　一二四機
(ロ)ニューブリテン島
交戰前機數　七〇機
撃墜數　五機
(ハ)コロンバンガラ島
交戰前機數　一七六機
撃墜數　一六機
(ニ)ニュージョージヤ島周邊
交戰前機數　六四三機
撃墜數　九〇機
(ホ)イサベル島
交戰前機數　五〇機
撃墜數　三機
(ヘ)レンドバ島
交戰前機數　二五一機
撃墜數　三三二機

△八　月
交戰前機數　一八八機
撃墜數　三二一機
撃墜率　一割八分六厘强
内　譯
(イ)ブーゲンビル島周邊
交戰前機數　二三九機
撃墜數　六六機
(ロ)ショートランド島
交戰前機數　一六機
撃墜數　一五機
(ハ)ベララベラ島
交戰前機數　一二二機
撃墜數　[illegible]
(ニ)コロンバンガラ島
交戰前機數　三四九機
撃墜數　七機
(ホ)ニュージョージヤ島
交戰前機數　九八機
撃墜數　四九機
(ヘ)イサベル島
交戰前機數　三四〇機
撃墜數　一八機
(ト)レンドバ島
交戰前機數　二一五機
撃墜數　一八機

△九　月
交戰前機數　一七一〇機
撃墜數　二七八機
撃墜率　一割六分三厘弱
内　譯
(イ)ブーゲンビル島周邊
交戰前機數　一〇九〇機
撃墜數　二八機
(ロ)ニューブリテン島
交戰前機數　三五二機
撃墜數　三機
(ハ)ベララベラ島
交戰前機數　二〇機
撃墜數　三機
(ニ)コロンバンガラ島
交戰前機數　五六五機
撃墜數　五四機

△十　月
交戰前機數　二、五一四機
撃墜數　二四一機
撃墜率　九分六厘
内　譯
(イ)ブーゲンビル島周邊
交戰前機數　一、七六二機
撃墜數　二二九機
(ロ)ニューブリテン島
交戰前機數　七〇六機
撃墜數　一〇一機
(ハ)ベララベラ島
交戰前機數　四五機
撃墜數　一〇機
(ニ)チョイセル島
交戰前機數　[illegible]
撃墜數　一機

△十一月上旬
交戰前機數　一、一八二機
撃墜數　四五〇機
撃墜率　三割八分強
内　譯
(イ)ブーゲンビル島周邊
交戰前機數　四九〇機
撃墜數　七八機
(ロ)ニューブリテン島
（但し九日まで）
交戰前機數　六九三機
撃墜數　三七二機
（但し十四日まで）

△總計　交戰前機數　八、三八三機
撃墜數　一、五六六機
撃墜率　一割八分七厘

六月三十日以降、敵機の來襲は著しく增加し、右數字が示すごとく七月中には一千六百十二機が來襲、八月には千百八十八機とやや減少したが、九月は千七百十機と著增し、さらに十月には二千五百十四機と激増してをり、十一月は上旬までの數字が千百八十二機

とい**ふ**

數字 に達してゐる、十月が目立つて多いのは、前記の如く十月二十七日のモノ島上陸および十一月一日のブーゲンビル島上陸のための連續的反復攻撃實行の結果であり、日别にみると十月に入るが、敵の[illegible]數字は二十七日以降の新段階のなかに入れるべきであらう。右の數字を通し、われわれはソロモン方面においても敵の出撃し得る所の航空兵力を、月平均二千機内外と見ることが出來る、最近の傾向としてはラバウル上空における航空戰をはじめ連續的な敵の大編隊の空襲を

撃墜 してゐるところから敵は航空戰の從來に運ひかけられてゐるようにも見られる。このことは十月一杯の來襲敵機二千五百十四機中、撃墜數二百四十一機に對し、十一月は上旬までに既に千百八十二機中撃墜四百五十機に達してゐること、及び從來、來襲敵機は四發大型爆撃機が多かつたが、次第に航空母艦に代へて來たことによつても察知し得る。またわれわれはこのことと右比率によりわが方は來襲敵機の平均一割五分を撃墜出來るものと推定するとすれば月に二千機平均來襲した場合には、敵機の損害は毎月三百機にのぼり、一機當り搭乘員を四名と見ると、敵はソロモン方面だけでも毎月貴重な搭乘員を千二百名失ふことになる。しかも我が方の戰果は敵の補充が增加すればするほど[illegible]の戰果が增加してゆくのであるが、かく考へると敵が豫想してゐる日本本土上陸を限りに許すものとして計算すると、わが本土にたどり着くまでに、敵は搭乘員だけでも何十萬人も失はなければならないだらう。敵も必死だ。航空機の增産を中心とする航空兵力の增強には[illegible]の努力と並んで國家的努力を傾注してゐることは外電によつて傳へられるところでも明かである、去る六月敵が生産を發表した數字についてみれば、一九四二年十一月、十二月の月産高は十一月四、八二〇機、十二月五、四八九機であるが、一九四三年になつてからは次のごとくである

一九四三年月産高
一　月　五、〇〇〇機
二　月　五、五〇〇
三　月　六、二〇〇
四　月　六、〇〇〇
五　月　七、二〇〇
六　月　七、〇〇〇
七　月　七、三七三
八　月　七、六一二
九　月　七、五九八
十　月　八、三六二
十一月　九、〇〇〇

月産平均七千六百機となつてゐる、これを月産平均六千九百機と推定する[illegible]にいかに努力してゐるかは[illegible]れるが、本年七月の米誌ライフによると、陸軍五五パーセント、海軍二〇パーセント、聯合國二五パーセントとなつてゐる。これを月産七千機としてみれば陸軍は三千八百五十機、海軍一千四百機となる。さらに同誌は陸軍に配分される飛行機のうち、爆撃機四四%、戰鬪機一六%、輸送機二〇%、練習機二〇%と傳へてゐる。この割合を陸海軍共通と見做すれば戰闘機、爆撃機を除く機數は二千百機となる。しかしこれらが全部太平洋戰線へ來るのではないことは明かである、その比率がいかなるものか傳へられるところによると、歐洲と國内一、太平洋戰線五となつてゐるので、だいたい太平洋戰線には一千機程度のものが補給されてゐることがわかる。これに對しわが方は平均一ヶ月約三百五十機撃墜してゐる。近代戰における航空機の占める地位の重大性を知るならば、われわれはさらに航空機の增産、航空兵力の强化に邁進しなければならない

緬印國境の峻嶮を制壓しインパール（印度）爆撃に向ふ陸鷲（陸軍省許可濟）

地方長官打合せ會
あす重要事項を協議

總督府においては十六日島内各州廳長會議に各地方長官が出北するので同日午後一時より府正廳において地方長官打合せ會を開催、左記事項につき打合せを行ふ事になつた

一、未教育青年の錬成に關する件（文教局提出）
二、鍊成青年勤勞所の經營擴充に關する件（同上）
三、青少年の海洋訓練に關する件（同上）
四、戰時災害に伴ふ救護訓練の[illegible]に關する件（同上）
五、石炭資源調査實施に關し協力の件（鑛工局提出）
六、陸兵制度施行準備に關する件（警務局提出）
七、防空業務の運營整備に關する件（同上）

米、英、重慶の泥試合
カイロ會談最後迄祟る

【リスボン十三日發同盟】カイロ會談は專ら重慶政府の脱落防止と米國内の太平洋第一主義に對する御機嫌とりを目標とした官僚工作にすぎなかつたと評されるが、會談に關する發表を繞つて先づ米英兩國の新聞界が噛み合ひ、更に重慶政權まで一役買つて出て、とんでもない泥試合を演ずるに至つた、事の起りはリスボンからのロイター電報で米英兩國政府と重慶との發表に關する打合せ時間に先立つこと一日半、早くもカイロに於ける「三頭會談」とスターリン首長を交へたテヘラン會談とを報道してしまつた、納まらないのは米國新聞界で戰時情報局のエルマー・デイヴイスが英國の情報相ブレンダン・ブラッケンに正式抗議を提出するに至つたが、今度はニューヨークタイムス紙が十日の紙上でNANAのロンドン電報として「カイロ會談に英國の新聞記者が出席し、あとになつてロイター特派員としてリスボンのロイター支局にカイロ會談に關して電報を打つたためロイター電報が特だねとなつた譯だ」と報道したから今度は英國側が納まらない、騷ぎは[illegible]英國側からの電報に依れば英國側は十三日特に事情説明の手を以て大要次の通り説明したと傳へられる、ニューヨークタイムス紙の報道は全くのでたらめで、英國政府はカイロ會談について嚴格な統制措置をとり絶對に報道を洩らさなかつた、英國政府の間ではカイロから電報がはいつてから二十四時間後にワシントンとロンドンで一齊に發表する豫定であつたのでロンドンやワシントンからカイロ電報が入つて來ても重慶政府は全然發表せず、ワシントンで發表になつたといふ報道を受取つた後に發表し、結局重慶側での發表はワシントンでの發表に比べて十二時間遅れた位だ、ニューヨークタイムス紙の報道そのものがデイヴイスとブラッケンに遺憾の意を表明した、AP電報に依れば[illegible]各自勝手にカイロ宣言を發表して重慶に[illegible]したが、重慶は遅れる、重慶側では全然[illegible]は空手形に一向驚かず少からず失態したのはかくれもない事實だと傳へられる

人員の補充に狂奔
在支米空軍　支那人を養成

【廣東十四日發同盟】大陸戰線の米空軍は不斷に續けられる我が航空部隊の果敢な攻勢に依つて逐次勢力は減殺されつつあるが、米空軍當局では待避作戰に依つて補給が續かぬ自己勢力の保全を圖ると共に絶えざる人員の補給確保に狂奔し、その一策として支那人飛行士を採用「米支混合飛行隊」なるものを組織して米人飛行士の不足を補ふに至つた、即ち情報に依ればこの米支混合飛行隊は敵が航空要塞と呼號する最有力爆撃機基地にその本據を置き、彼等の作戰企圖に應じ隨時各基地を移動しつつあるものの如く、その隊員は飛行大隊の形式をとり米人隊長は、アイエル・ヴァンチ大佐その下に中國人隊長の名目で李[illegible]

印緬方面に荒鷲の強化
敵側指摘

【リスボン十四日發同盟】ニューデリー來電＝米第十航空隊司令官代理ダビッドソンは印緬方面における日本航空部隊の強力化を指摘して十四日次の如く言明した
ビルマ方面の日本航空部隊は強力で雨季後米空軍に對し效果的な攻撃[illegible]に邁進してゐる

武昌に來襲機
倉皇遁走す

【漢口十五日發同盟】十二日午後十時半頃ノースアメリカンB25七機の編隊が二回に亙り武昌上空に來襲したが、我が地上砲火に迎撃くられ爆彈をめくら滅法に投下したのみで遁走、我が方に損害はなかつた

六十年來願望の獨立
逞し青年の國ビルマ

【ラングーン發同盟】英國の侵略以來ここに一百年、この間ビルマ民族ほど苦難に富んだ民族はない、然もそれは過去六十餘年に亘る英の暴政を排除して獨立を希求するといふ民族の悲願の連續であり、この歴史的な轉換はビルマ民族に全く新しい歴史を生み出したのである、過去のビルマ建設以來わが皇軍に全力をあげて協力し、ビルマ復興に努力して來たビルマ人の熱意は去る八月一日遂に待望の獨立達成となつて現はれここに過去六十餘年に亘るビルマ人の悲願は達せられたのである

青年國ビルマ誕生

顧みれば昨年八月、バー・モウ氏を長官とする行政府が成立して以來わが軍政はよくこれが指導に努め、ビルマ要人に行政運營の職責を與へると共にビルマ國民の第一義的任務を遂行する上に多大の功績をなした。[illegible]によつて築き上げられた多くの民衆は今や獨立ビルマ國に[illegible]、ビルマ人の進む道は火の玉となつてビルマ民族の復興へと邁進されたのであつた。日本軍の[illegible]に[illegible]されて、ゲリラ的策動による無辜の民衆の殺戮を[illegible]な英國法、またインドに對する英國の[illegible]を[illegible]して[illegible]、獨立國の[illegible]のビルマ國民の一部に存在した狭隘な民族利己主義は[illegible]の[illegible]とビルマ政府指導者の[illegible]によつて[illegible]してしまつた。このビルマ人の[illegible]的[illegible]をなし遂げたビルマの[illegible]の[illegible]上にビルマ國の運命を[illegible]するといふところまで進んだので

ある。バー・モウ國家代表がその[illegible]の中において「ビルマは戰爭に一喜一憂することなく、ただ戰爭完遂に向つて邁進せん」と述べた如くまた大東亞會議における[illegible]でバー・モウ國家代表が東亞民族は各國の國家主權の上に全東亞的國家主義を持するを要し、各領土的境界を超えて東亞的境界を作らねばならぬ、今やビルマは飽くまで[illegible]する決意を有するが、全東亞民族もまたその[illegible]を[illegible]して敵に當るを要すと叫んだのはこの青年國ビルマの全民族の聲を代表したものといへるのである

民族統一成る

かくてビルマはその獨立以來新しき發展と進歩をなしとげて來た。去る八月卅一日バー・モウ國家代表によつて國家[illegible]綱が宣言され國家の最高方針として一、第一線の民力強化、二、[illegible]、[illegible]、民生の確保、三、行政機構の[illegible]化の三點をビルマ[illegible]の目標とした[illegible]にこの要綱の[illegible]に從つてバー・モウ國家代表は過去においてビルマが衰亡した原因は餘りに內紛に耽りすぎ、[illegible]青年及び[illegible]の力を忘れ、[illegible]くに缺けてゐたからである。今やビルマを近代國家として興隆せしめるには[illegible]の力が先づ[illegible]せねばならぬと述べビルマの[illegible]を[illegible]に[illegible]第一線的[illegible]の[illegible]に[illegible]せんとした、先づ第一に[illegible]されたのは[illegible]國家としての[illegible]の[illegible]であつた、ビルマの憲法によればビルマ國は[illegible]、司法、立法の三權分立主義をとり、その主權は民衆の上に[illegible]てゐるが、[illegible]の運用に當つては三權並に[illegible]の全部をあげてバー・モウ國家代表に[illegible]し、[illegible]國家代表の强力なる[illegible]の下一丸となつてビルマの[illegible]に[illegible]めんとした。この[illegible]的指導者

[illegible]國家的[illegible]こそ今日のビルマを[illegible]せしめる最大の原動力であつたのである。第二に[illegible]されたのは各民族の統一聯合であつた。ビルマ全人口千七百萬の内部は、ビルマ人千二百萬、カレン人百五十萬、インド人百二十萬、支那人二十萬その他となつてゐるが、かかる民族[illegible]をもつビルマは何をおいても國民の統一を[illegible]らねばならぬ、これがため先づビルマ人とカレン人の相[illegible]を[illegible]し、カレン人代表なる[illegible]ザン・レポ氏とバー・モウ國家代表との會談によつて百年に亘るカレン人[illegible]ビルマ人の[illegible]はここに[illegible]されるに至つた、またインド人とビルマ人との間には英の[illegible]時代にあつては英の[illegible]によつて[illegible]された深刻な相剋があつたが、獨立後[illegible]に[illegible]るボース、バー・モウ兩氏會見によつてその相剋の[illegible]が實現するに至り八月二十一日バー・モウ國家代表は國家最高の形式をもつて（イ）ビルマ並にその同盟國に協力する英國民たるインド人に對しては第三國人と同等に取扱ふ（ロ）インド人のビルマ歸化を與ふ、と宣言し、更に「特にインド獨立運動のためビルマを通過するインド人に對して最大なる援助を與ふる」旨を聲明し自由インド假政府下のインド人にも多大の[illegible]を與へここにビルマの民族統一は完全に[illegible]された

政治軍事の進展

かかる民族統一の確立と共に國家組織の確立が[illegible]られた、即ち去る八月二十一日「新統治機構」を公表し官吏制度の[illegible]行政能率の[illegible]、官紀の[illegible]を[illegible]り各種の委員會を[illegible]して立案[illegible]に[illegible]らしめる一方國民[illegible]の[illegible]を[illegible]め[illegible]二十萬を[illegible]するドバマ・シンエタ黨はビルマ唯一の[illegible]として外相タキン・ヌー氏の指[illegible]の下に過去の[illegible]的色彩を拂拭して政府と表裏一體のもとにビルマ國の推進力として[illegible]、また國家奉仕部門にも[illegible]と復興[illegible]が[illegible]められた、獨立後のビルマ[illegible]の方向としては先づその第一線[illegible]より[illegible]して戰爭完遂に[illegible]する努力を[illegible]一とするが、同時に民生の[illegible]確保にも[illegible]努力されることとなつた、そしてビルマの自給自足經濟の確立によつて、[illegible]遂行に[illegible]する[illegible]と民生の確保とを[illegible]らんとすることをその根本[illegible]として[illegible]みるのである、その具體策としては[illegible]本[illegible]たるビルマ[illegible]の[illegible]に[illegible]み、各[illegible]の[illegible]、特に[illegible]の[illegible]に特に力を入れ、また[illegible]力の[illegible]の[illegible]としての[illegible]が[illegible]れてゐるのである

[illegible]と表裏一體のもとにビルマ國の推進力として[illegible]、[illegible]は[illegible]を[illegible]する最大の[illegible]として[illegible]遂行に必要なる[illegible]の[illegible]として將來の一大[illegible]の[illegible]たらんとしてゐる、その他[illegible]、[illegible]も[illegible]の全國組織も近く[illegible]に[illegible]、[illegible]に[illegible]いてそれぞれの[illegible]をとげされる[illegible]である、國家組織、民[illegible]の[illegible]と共にオンサン[illegible]を中心とするビルマ[illegible]の[illegible]もまた目覺ましい、ビルマ[illegible]と共に[illegible]されたビルマ獨立義勇軍はビルマ防衛軍に[illegible]し、更に獨立[illegible]は[illegible]なる[illegible]の[illegible]をもつ[illegible]軍からビルマ[illegible]の尖兵たるビルマ國軍へと[illegible]したが、その[illegible]は[illegible]たるものがあり全ビルマ[illegible]の[illegible]を[illegible]めてをり[illegible]に[illegible]の[illegible]をも[illegible]するに至つてゐる

經濟の進展

[illegible]の[illegible]に[illegible]する[illegible]と[illegible]ある

今や獨立ビルマは[illegible]として[illegible]的[illegible]に[illegible]してゐる、バー・モウ國家代表の[illegible]下、全ビルマ[illegible]は身をもつて第一線生活を[illegible]し、大東亞戰爭完遂の[illegible]い決意と[illegible]き[illegible]年の國ビルマを更に[illegible]しく[illegible]てんとの[illegible]に[illegible]えてゐるので

赤軍戰車二百五十
ジトミールで獨軍鹵獲

【ベルリン十五日發同盟】獨統帥部十四日發表

一、キロヴオグラード並にチエルカッスイ地區においては十三日赤軍はその壓迫を加重した、南方面では赤軍が[illegible]下向[illegible]中であるが赤軍は多數の死傷者を出しながら數ケ所で地域を確保した、敵が數週間に亙つて包圍を企圖してその目的を達しなかつた、チエルカッスイからドイツ軍は十三日夜計畫的に撤退した

ジトミール東北方地區のドイツ軍はテテレフ河西岸を奪回、敵部隊を四散せしめた、十二月六日から十三日までの間に右地區で赤軍は捕虜四千四百及戰死約一萬一千を出した、またドイツ軍は砲二十七門、戰車二百五十四その外多數の重砲火器を鹵獲乃至破壞した、ネヴエリ南方では赤軍は強力な歩兵部隊並に[illegible]兵戰闘部をもつて攻勢に出た赤軍は猛烈なる[illegible]の後攻撃に出たがドイツ軍はこれを撃退、數ケ所の局地的突破を除去多數の敵の[illegible]を破壞した

一、南部イタリア戰線ではアドリア海岸地區における局地的戰闘を除き前線は平穩であつた

一、十三日晝夜間空軍は[illegible]に[illegible]を投下した、この結果各地の住宅地域に損害を生じた但し敵機十一機は獨空軍のため撃墜された、更に同夜空軍は[illegible]ノ・ウエストフアリア工業地區に爆彈を投下した

キエフ以西獨軍制壓
ドニエプル戰局新段階

【ストックホルム十四日發同盟】ドニエプル彎曲部の戰況はドイツ軍がチエルカッスイから撤收した後、新たな段階に突入するに至つた、チエルカッスイはドニエプル右岸に位する河港でキエフ、クリヴオイログの略中間を占める要衝であり、ドイツ軍の同地撤收は明かに赤軍はドニエプル河を越えキエフ以南の中南部ウクライナに三本の楔を急速に擴大する一方ドニエプル河口地區で待機中のドイツ軍のルブーヒン軍の新作戰開始を慮つてキエフ西方から黑海沿岸にかけて[illegible]なる防禦線を布くマンシユタイン軍を一擧に擊破する意圖と見られる、しかしながら目下のところ赤軍はクリヴオイログでは完全にドイツ軍のため前進を阻止され、キロヴオグラード地區でドイツ軍を[illegible]、[illegible]に進出をしてゐる、西方戰線では十二日を期して開始されたマンシユタイン軍の反撃によつてドイツ軍の前進は一時阻止されるかと見えたが、キエフ突出部に據る赤軍は[illegible]へと[illegible]し[illegible]西南方並に南方で更に進出するに至りマリン西南方の[illegible]ラドミスルもドイツ軍の手中に落ちた、かくて前線からの[illegible]を[illegible]にキエフ西北方五十五マイルのマリンからキエフ南方のフ[illegible]に[illegible]

赤軍ラドミスル撤收

【ストックホルム十四日發同盟】モスクワ來電＝ソ聯統帥部は十四日夜の公報をもつてキエフ西方戰線の赤軍がマリン南方のラドミスルから撤收した旨發表した

チエルカッスイを獨軍撤收

【ベルリン十四日發同盟】獨統帥部は十四日[illegible]チエルカッスイ地區の[illegible]防禦陣地を撤收した旨發表した

[illegible]は優勢なる赤軍戰車並に歩兵部隊と數週間に亙つて激戰を展開してゐたが獨軍司令部は十三日夜チエルカッスイの獨軍部隊に對し新陣地に撤收すべしとの命令を發した、獨軍は既に長期の激戰で完全に破壞された同市を人的、物的には何等損害を被ることなしに秩序正しく撤收を了へた、獨軍撤收後赤軍は廢墟と化した同市に入つたが獨軍が敷設した地雷原によつて赤軍に又も多數の死傷者を出した

赤機四千三百失ふ
九月以來、獨軍の大戰果

【ベルリン十三日發同盟】ドイツ空軍當局は去る九月から現在に至るまでの間に赤軍が蒙つた飛行機の損害は四千三百機に達する旨十三日發表した

ジトミールの赤軍撃退さる

【ベルリン十三日發同盟】獨統帥部は十三日の戰況公報に於てジトミール方面の戰況を次の如く發表した

ジトミール東北方の戰闘に於て赤軍は新鋭部隊を以て獨軍陣地に對し猛烈な反撃を加へ來つたが獨軍は赤軍の全攻撃を撃退し、一方獨軍部隊は赤軍に新攻撃を加へてテテレフ河西岸の赤軍橋頭堡を粉碎した

赤軍一個大隊を殲滅

【ベルリン十三日發同盟】獨統帥部は十三日の戰況公報に於て獨軍[illegible]部隊の突撃隊がイルメン湖北方に於て強力なる赤軍陣地に奇襲攻撃を加へて陣地の一部を奪取、赤軍一個大隊を殲滅した旨發表した

米の宣傳空中樓閣
中部太平洋攻勢を呼號

【ブエノスアイレス十三日發同盟】米國政府當局はマッカーサー軍の渡河作戰における戰略上の目的はブーゲンビル島上陸以來南太平洋における日本軍の牙城ラバウルの攻略にあつたとしきりに宣傳し國民の士氣を煽り立ててゐたが、ブーゲンビル島の戰況が完全に膠着狀態に陥るや最近またもや國際輿論に對し[illegible]を[illegible]するため[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]を加へる必要を感ずるに至つた以上の役目を買つて出たのがニューヨークタイムス軍事記者ボールドウインで最近の同紙上に太平洋戰略論を掲載し[illegible]を[illegible]したやうにラバウル攻撃の戰略的不利を指摘し中部太平洋の攻勢を強化したならば他日日本本土を衝くことも不可能ではないと出發目標中な空中樓閣を描いてゐる、同氏は次の通り南部並に西南太平洋の作戰目的は元來ラバウルの攻略にあつたが、然しラバウルは日本本土から遥かに遠く隔つてゐるばかりでなく中間にカロリン諸島と言ふ强めて強固な日本軍防衛陣地線が控へてゐる、從つてラバウルを直接攻撃するよりは寧ろ側面迂回するなり補給させてしまう方が得策である、そのためには先づマウントバッテン軍主力のビルマ、マライ進攻作戰が考へられるが、更にニミッツ軍の中部太平洋攻勢を一層强化しなければならない、もしもニミッツ軍が內南洋に橋頭堡を確保したならば南太平洋における日本軍の基地を悉く自動的孤立するこ とになり、更にグアム、比島へ

中部進攻に疑義

【リスボン十三日發同盟】米國當局は最近中部太平洋のニミッツ軍の攻勢を頻に囃し立てて南太平洋方面における作戰的勝利に[illegible]をギルバート諸島上陸作戰に[illegible]、[illegible]にこそ[illegible]の[illegible]にこれより[illegible]の價値も[illegible]ひをかち始めてゐる[illegible]英國誌ニユース・クロニクルも[illegible]んにタラワ上陸戰を取り上げて[illegible]用兵[illegible]に[illegible]を加へ、ぬ[illegible]中部太平洋の[illegible]作戰は不可能だと次の[illegible]を下してゐる

タラワ島上陸作戰に關する詳しい記事や[illegible]によつて米國軍は驚くべき多くの犧牲を拂つたことが明らかになるに伴ひ[illegible]に中部太平洋攻勢の解決すべき最[illegible]問題が伏在してゐる事が[illegible]されるに至つた、[illegible]はタラワ島沖合から[illegible]に分乘して海岸に向つたが、日本軍の[illegible]な砲火を[illegible]びて多くは[illegible]に[illegible]されるか乃至は[illegible]を完全に阻止されれたなくうろうろに[illegible]を施して[illegible]るない小艇に乘換へて日本軍の[illegible]な十字砲火を[illegible]から浴びながら海岸へ[illegible]り込まなければならなかつた、上陸當時の[illegible]が示す[illegible]でも初めて小艇で[illegible]上陸した[illegible]に[illegible]は以上の[illegible]にある、英國[illegible]は[illegible]は中部太平洋にはタラワ島の如き[illegible]が[illegible]に[illegible]に[illegible]つて居り、これらの島々を次々と[illegible]するためにはタラワ島よりも[illegible]かに大きな犧牲を拂はなければならぬ[illegible]を[illegible]してある、ハンソン・ボールドウインが水中深く[illegible]し[illegible]を[illegible]お[illegible]へ[illegible]に[illegible]ひ上ることお出來、且つ[illegible]な[illegible]を施した水[illegible]用[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐるのはそのためだ

反樞軸又會議
今度は一月に

【ブエノスアイレス十三日發同盟】ワシントン來電＝反樞軸陣營の[illegible]を[illegible]もつて任ずる米國は更に自己國内に反樞軸諸國の代表を[illegible]し[illegible]して會議を[illegible]ものと見られ、多分明年一月米國の大西洋岸の都市で開かれることとならうが、反樞軸並びにその[illegible]國全部に對して招待狀が發せられる筈である

米英は勃、羅を恫喝
バドリオ脅しと同手段

【リスボン十三日發同盟】テヘラン會談の結果米英兩國政府は先づトルコ政府に對して[illegible]な[illegible]を[illegible]始したが、トルコ政府が非[illegible]の[illegible]を堅持して[illegible]かないと見るや今度はブルガリア、ルーマニア兩國に對して[illegible]を[illegible]しむ[illegible]エフを[illegible]始した、ワシントン來電によれば米國國務長官ハルは十一日[illegible]明を發表し勃、羅兩國は反樞軸軍の進撃の前にドイツ政府と[illegible]を分離しなければならない旨を述べて兩國民を恫喝したと傳へられるが、[illegible]に英國外相イーデンはロンドンに[illegible]すると同時に下院において同樣[illegible]明を[illegible]つた、[illegible]的[illegible]を[illegible]する[illegible]と[illegible]はれる、[illegible]と並行して反樞軸陣營がソフイア市に[illegible]を加へてゐるのはバドリオ政權下のイタリア[illegible]に[illegible]する[illegible]と全く同一だが、ブカレスト並にソフイアからのDNB電報によれば特にルーマニア[illegible]は飽くまで[illegible]イツ軍と協力し最後の勝利に邁進する決意を披瀝したと傳へられる

熱管理指導班
を組織

【東京電話】[illegible]なる[illegible]を[illegible]ち[illegible]くために一層の[illegible]も[illegible]しよう[illegible]今[illegible]では[illegible]の[illegible]を[illegible]るため今月十五日から明年三月末まで[illegible]管理[illegible]を[illegible]、[illegible]、大[illegible]、[illegible]の協力を得て[illegible]的に活[illegible]なる[illegible]を[illegible]することになり[illegible]、[illegible]ことになつた、右の[illegible]は[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]の各省にそれぞれ[illegible]管理指導班を[illegible]して[illegible]の工[illegible]に[illegible]し[illegible]力なる[illegible]指導を行ふもので此の[illegible]化期間の[illegible]は十四日[illegible]から[illegible]に通[illegible]されたが、その大要は各工場に[illegible]理委員會を設け[illegible]しむると同時に、主務[illegible]、日本[illegible]及[illegible]などから成る中央[illegible]を[illegible]し[illegible]に[illegible]らせる外[illegible]などを行ふ、[illegible]特に[illegible]のものについては工[illegible]に[illegible]の[illegible]が行はれる

絲價安定法等
廢止の理由

【東京電話】政府は十四日の閣議で絲價安定施行法廢止及蠶絲業統制法中改正法律案要綱を決定したが同法案の[illegible]は最近の蠶絲業の[illegible]化に伴ふもので現在の如く生絲の[illegible]が全く杜[illegible]し且つ國內生絲の價格も公定價格に依つて安定してゐる今日、曾つての如き[illegible]に[illegible]は全くその[illegible]を[illegible]に至つたものである、現行絲價安定施行法は昭和十二年法律第十六號をもつて制定され同時に制定を見た絲價安定施設[illegible]法の[illegible]用と相俟つて自由經濟時代の絲價[illegible]に[illegible]史的[illegible]を果して來た、[illegible]ち[illegible]は[illegible]に從つて市場から生絲を買上げ[illegible]の[illegible]をそれを[illegible]し[illegible]、[illegible]を未然に防止し來

檢察官異動

[illegible]に於ては十五日附左の如く檢察官の一部異動を發令した

臺中地方法院檢察官　松岡　[illegible]
高雄地方法院[illegible]檢察官
臺北地方法院檢察官　[illegible]
臺中地方法院檢察官　[illegible]
臺南地方法院[illegible]檢察官　中島　大[illegible]
臺南地方法院[illegible]檢察官
[illegible]地方法院[illegible]　[illegible]

人事

▲松岡正男氏（マニラ新聞社長）十五日[illegible]（鐵道ホテル）
▲森田[illegible]臺中州知事　十六日朝出府
（[illegible]）
▲[illegible]知事　十六日朝出府
（[illegible]）
▲[illegible]州知事　十六日朝出府
（[illegible]）
▲江[illegible]州知事　一日[illegible]十六日朝出府（[illegible]）
▲多[illegible]氏（[illegible]取締役）來北（鐵道ホテル）
▲三[illegible]氏（[illegible]）來北（[illegible]）
▲多木[illegible]三氏（日本[illegible]）來北（日之丸館）
▲[illegible]十日[illegible]の[illegible]
▲佐[illegible]氏（[illegible]）十五日[illegible]へ廿一日歸北
▲石川[illegible]氏（[illegible]）[illegible]

肇國創業の意義
大東亞に知らしむ

【東京電話】肇國の太古、神々國を生み給ふてわが皇國に發祥した[illegible]

大東亞神話傳說美術展覽會

[illegible]

罹災者へ見舞金
總督さん火燒島民に同情

去る十一日東部地方の[illegible]火燒島に[illegible]長谷川總督は十五日午前十一時三十分[illegible]折から出府中の山形臺東廳長に[illegible]

火燒島の人達はさぞ困つて居ることだらう、これは僅に少額だが救助金の一部に宛て貰ひたい[illegible]と暖かい言葉と共に金一封を差し出せば山形廳長は感激[illegible]

激勵の言葉に送られ
“陸の若櫻”退所
十五日勇躍鄕里へ

去る十二日晴れの修了式をすませた[illegible]“入營の日まで心身鍛成を怠つてはいかぬぞ”と[illegible]それぞれの家鄕で待機する事となつた

高雄造船創立
社長は本地氏

【高雄電話】資本金四百萬圓を擁して南部に於ける造船所[illegible]海洋交通の新秩序[illegible]

長谷川總督
視察日程變更

長谷川總督は十六日午後二時より[illegible]を行ふ豫定の處都合に依り一日延期して十七日午後二時より視察することになつた

下級幹部を速急養成

【東京電話】陸軍では現役下士官[illegible]

問　陸軍には現在幹部候補生、特別幹部候補生、少年兵など色々の制度があるが、この度に今度の制度が新設された譯は

答　第一には國家の要求からである。[illegible]

テレビン油
本格的增產へ

【花蓮港電話】[illegible]

香港更生二周年迎へ
決戰色豐かな記念行事

【香港支局特電十四日發】[illegible]

美はしき鬪士〔下〕
―ラクシミ婦人部長―

ラクシミ婦人部長が[illegible]

[illegible]【寫眞はラクシミ婦人部長の婦人隊幹部内視察】

朔北の孤島で
通信任務に挺身
戰ふ野戰郵便局（中）

【北東方面前線基地にて[illegible]】[illegible]

征けぬ身の御奉公
高砂同胞の赤誠

【新竹電話】[illegible]

內地式醬油の自產自給

【新竹電話】[illegible]

“決死奉公”を絕叫
明日なしの一日主義
小貫大尉

一線指導者に聽く

【10】

[illegible]

【寫眞は小貫大尉】

“幸運の”一萬圓
ち組六、四八九

特別定期預金の割增金抽籤

[illegible]

一等	一萬圓（一本）	ち組六、四八九
二等	一千圓（各組共通十本）	[illegible]
三等	百圓（各組共通二百本）	[illegible]

ボラの來襲に
は　きりきる漁民

【高雄電話】[illegible]

佐治專賣局長南下

[illegible]

臺中市警防團
州檢閱終る

【臺中電話】[illegible]

惡疫・誅求に惱む
敵地韶關は生地獄の慘

[illegible]

糯米配給

[illegible]

今夜の番組

[illegible]

𠊳水傳（33）
村松梢風作
中一彌畫

來島（十）

[illegible]

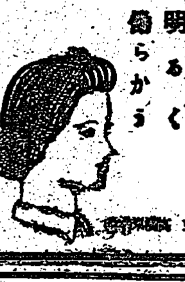
結核患者に快報！
努力三十年・遂に完成す
結核專門藥
星製藥株式會社

クロバー
口紅・白粉

勤勞男女の體力增强に
わかもと

結核症に
肺結核　肋膜炎　肺尖カタル　肺門淋巴腺

國產
マラリヤ
キナミス
公認 東京寫眞學校



アイデアル化粧品
素肌美で明るく朗らかう

試めせ！
一倍健身
六〇ハップ